

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 無所属会派所属

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



市民病院への貸付金 20 億円質疑

2 次医療機関（町田市病院）と 3 次医療機関も同様

町田市民病院は、今回、赤字の補填の為に 20 億円の借り入れを行うことになりました。相手先は町田市です。同じ町田市であるのに、単純に補填の補助金とせず、借り入れとしたのは、町田市民病院が独立採算制を取っているためです。近年多くの自治体病院で独立採算制が取られており、この借り入れは 1 年据え置き、翌年から 9 年で均等払い（年利 0.5%）としたものです。町田市民病院の支出の主要なものは、診療材料、薬剤品等、あるいは委託費、それに人件費のベースアップによる増加があります。約 159 億円増、他方の収入は、診療報酬増 139 億円増となっており、その差額の 20 億円を町田市が貸付け補うことにしたものです。



本会議質疑では、固定金利とした理由を問うた後、2 次医療機関としての町田市病院と、3 次医療機関や都営病院との経営比較内容に差は無いのかと問いました。答弁ではどの公立病院も苦しい経営内容になっているというものでした。自分で改めて調べたいと思います。

一般質問：多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会

設立以降わずかに 4 回開催で 2018 年！が最後の開催

町田市議会が発行する市議会だよりの自分の原稿部分に、タイトル「モノレール協議会の行事が無い」とし、本文には「多摩都市モノレール町田方面延伸推進協議会の主催行事が開かれた回数と年度と、何が及び開催内容は。」と書きました。

答弁によると、2013 年 2 月 設立記念シンポジウム、2013 年 7-9 月 モノレール絵画コンクール、2014 年 6 月 第 2 回シンポジウム、2015 年 1-2 月 10 万人署名、11 月紙チェーンギネス記録、2017 年 1 月 第 3 回シンポジウム、2018 年 6 月 第 4 回シンポジウムというもの、以上が全てでした。

要するに、2018 年をもってその後の組織的な行動や活動は無かったわけです。トップ蔵の役員が集まったに過ぎない活動形態にとどまっていました。



吉田つとむ議長時代 2017 年 1 月のシンポ挨拶

やり取りでは、石阪市長時代に組織的な活動の開催展望は見込めず、「多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会」の「一般会員の発言の場の設定に向けて、次の市長に訴えていきたいと思います」と結びました。

従来の取り組みに不満の意見を聞き、質問しました

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員 3 名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる 町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表) 吉田つとむ



ブログ



個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第57期生が先行スタート。

市長のボーナス引き上げに反対討論するも多数可決する不思議

「引き揚げは次の市長から良いではないか」と反対討論

職員、市長などの理事者のボーナスを引き上げる議案が出され、総務常任委員会で審議をしました。結論を先に記しますが、職員の引き揚げには賛成、市長などの理事者の引き揚げには反対する討論を行いました。

こうした給与等に関する規定に関して、町田市は自前で審査はせず、東京都の給与やボーナスの設定に合わせる手法を取っています。おのずと、町田市内企業水準と市役所職員の比較調査は一切やっていません。一般の市政評価では近隣や同等都市との比較をするのですが、給与等ではあくまで東京都の基準が基礎にされています。それは当事者にとっては最も都合が良いという側面が重視されているためです。とは言え、町田市役所規模の企業の給与、ボーナス水準は物価高もあって、大幅に伸びており、職員募集などに影響が出るものでもあり、職員給与を引き上げないで留める方法はありませんでした。ただし、市長の立場は別です。本来は、特別職であり議会の議員と同じく、報酬審議会に諮問して結果を得るべきものと考えています。町田市議会は報酬関係でこの20年以上、一度の引き揚げも無く、市長との対比で著しく差が出ています。大半の議員がこうした市長などの理事者だけに偏した引揚措置に賛成するのか、私にはわかりません。



吉田つとむノ委員
(無所属)

インターン体験記⑤古閑 永都



私立高校2年生 古閑 永都(第57期)

今回は町田市議会本会議場にて本会議(第4回定例会)の傍聴を行いました。同会では採決等議案の決定に関する事項が無く、議案の質疑応答を終えたのち、請願の整理を行い、約30分での散会となりました。同会には様々な専門の部長が20名以上出席されていましたが発言の機会があったのは5名ほどでした。議案は事前に議員に公布され質疑に関しても基本的には事前に提出されたものを有効とするようで、それぞれの議員がどれほど予習し、またどれほど準備を行って臨むかはブラックボックスの中にあります。前回レポートの会派についての話題でも触れたように、ここでも適切な根回しが重要になってくるのではないのでしょうか。

そして質疑の無い議案はスムーズに付託先が振り分けられます。議案は毎度変わるわけですから質疑の回数もそれぞれでしょうが、今回は計14件の議案の内質疑があったものは2件でしたのでかなり事務的な整理の時間が長かったようにも感じました。議案を全て消化すると次に請願に関する話題に移ります。請願とは云わば市民の声であり議会にはこのように我々の声が直接的に議員の目に入る場があります。こちらも同様に事前に詳細が議員に通知され質疑がなければ付託先へと流れていきます。多数の請願に差はなく、一人での請願でも多くの署名を伴う規模の大きい請願でも同等に扱われており、民主主義を肌で感じた瞬間でした。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年10月末までに115名が参加しています。

◎57期生として、私立高校2年生の「古閑 永都」さんのインターン研修が先行スタートしましたが、今回は政治家や議員はどういうものか、どのような役割を果たし、課題に取り組むかを講義しました。

*次期のインターンシップは、2026年春季第57期の受け入れで照会中です。